

調査の目的

中山間地域※に住む住民の方の生活の実情や思いを把握し、今後の施策を検討する際の基礎データとすることを目的に実施しています。

調査概要

島根県内の全3,356集落を対象とした「集落人口データ調査」および「集落基本情報調査」と、集落のより詳細な調査を行った「集落代表者ヒアリング調査」（295集落）、「集落住民アンケート調査」（97集落）、「集落現地調査」（26集落）から成ります。

調査結果

①「田舎の田舎」でも次世代定住が進んでいます！

19世帯以下、高齢化率50%以上の小規模高齢化集落は増加しています。一方、便利な街中から離れた山間・離島でも、29歳以下の若年層人口が増加している（次世代定住が実現している）集落があります（図1）。

②住民の定住受け入れ意志も高くなっています！

住民アンケート調査では9割の方が受け入れに肯定的でした（図2）が、定住に取り組んでいる集落は少ない状況でした。また、定住促進のために「仕事の確保」を行政に望む声が多くなっています。

③急ぐ「鳥獣対策」、長期的には生活機能維持！

生活に支障が出るほど困っていることとして「鳥獣被害」という回答が、現在も村木においても最も多くなっています。また、将来においては、「買い物環境」や「移動・交通」といった生活機能について不安に感じている回答が多くなっています（図3）。

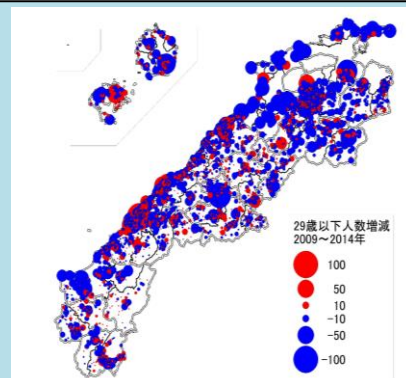


図1 29歳以下人口増減

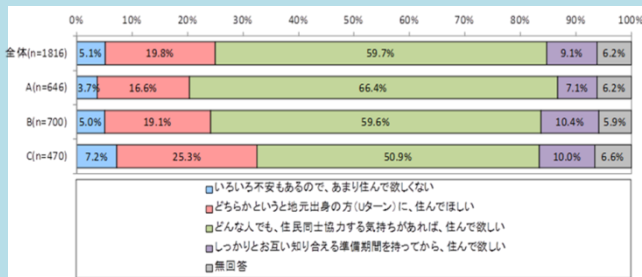


図2 住民の定住受け入れ意思

項目	現在					将来				
	生活に支障が出る程困っている	不便を感じているが、生活に支障がでる程困っていない	特に困っていない	わからない	無回答	生活に支障が出る程困っている	不便を感じているが、生活に支障がでる程困っていない	特に困っていない	わからない	無回答
ア)日用品等の買い物環境	22	139	129	4	1	108	102	47	37	1
イ)石油製品の購入	6	115	188	5	1	55	112	88	39	1
ウ)移動・交通	33	139	116	6	1	109	106	46	33	1
エ)福祉・健康	10	98	121	15	1	67	88	88	51	1
オ)医療	27	135	126	6	1	90	103	58	43	1
カ)集落環境の維持	35	115	140	4	1	127	82	52	33	1
キ)鳥獣被害	118	77	57	6	37	135	68	35	37	20
ク)防災など暮らしの安全の確保	24	111	137	21	2	67	98	65	62	3

図3 現在と将来(10年後)の集落での暮らしの状況

研究成果の活用など

- ①生活機能や集落機能を維持していくために、集落連携による「地域運営の仕組み」づくり＝「小さな拠点」形成を進めていきます。
- ②現在策定中の第4期島根県中山間地域活性化計画の基礎資料とします。
- ③今後の地域振興施策や定住施策を考えるための、参考データとして活用します。

MOUNTAINOUS REGION RESEARCH CENTER
島根県 中山間地域研究センター

〒690-3405 島根県飯石郡飯南町上来島1207

担当科 : 地域研究スタッフ

研究担当者 : 安部 聖、藤山 浩

問い合わせ先 : 0854-76-3836 (直通)

E-mail : chusankan@pref.shimane.lg.jp (代表)

